

日本脳神経外科学会 理事長 齊藤延人 先生

小児痙縮・ジストニアの治療法に関するアンケートのご依頼

日本小児神経学会 理事長 山本俊至
日本小児神経学会小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン策定
ワーキンググループ委員長 宮田世羽

痙縮とジストニアは、脳性麻痺をはじめとするあらゆる中枢神経疾患で生じ、患児の QOL を著しく低下させます。日常診療で診る頻度が高い症状・疾患にも関わらず、治療手段が経口治療薬、ボツリヌス治療、バクロフェン髄腔内投与療法、脊髄後根切断術、定位脳手術、整形外科手術など多岐に渡るため、他科との連携が十分にできない地域や施設では治療法が周知されておらず、適切な時期に適切な治療が選択できないことがあります。日本小児神経学会では、エビデンスに基づいた適切な治療方針を選択するための指針としてリハビリテーション科医、整形外科医、脳神経外科医の協力のもと、2024 年 2 月に「小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン 2023」を発刊いたしました。日本医療機能評価機構 Minds (Medical Information Distribution Service) の推奨に従い、上記ガイドラインの普及、活用、効果の評価のため、日本国内の小児神経科医、各学会（リハビリテーション医学会、脳神経外科学会、整形外科学会）、患者家族会を対象としたアンケートを行います。つきましては、貴学会代議員の皆様へ下記 URL (QR コード) からの Web アンケートにご協力いただけますと幸いです。

URL: <https://forms.office.com/r/VdUia4MHz9>



アンケートの設問は 4 つのセクションで構成され、設問数は 7～34 問であり、回答にかかる時間は 4～17 分程度です。

- 1: 所属の確認 (7～8 問)
- 2: 痙縮 (局所性、全身性) の治療について (8～11 問)
- 3: ジストニア (局所性、全身性) の治療について (3～5 問)
- 4: 他科、他施設との医療連携について (10 問)

なお、本研究は、杏林大学医学部倫理委員会の審査と研究機関長（医学部長）の許可（No.902）、日本小児神経学会の共同研究支援（26-02）で承認・支援された研究です。

本調査の結果は、学会や科学専門誌での発表および公表を予定しております。アンケート募集期間は2026年8月31日、研究期間は2026年12月31日までとさせていただきます。
ご協力の程宜しくお願い申し上げます。